

まちの遺産

旧板取宿

「宿場としての繁栄と」

「茅葺き民家」

古の時代から人が住み、谷間の狭く耕地に水田を作って自給自足の静かな生活を送っていた板取村が、一転して宿場として繁栄することになったのは、天正6年（一五六七）に柴田勝家が板の木峠の大改修を行ったことに始まります。その後は木ノ芽峠越えの北陸道に代わり、板の木峠越えの北国街道が主要道路となりました。

そのため、参勤交代の大名や一般の旅人など人馬の通行量が多くなり、板取宿は今庄宿の支宿として発展することになりました。当時は宿馬18頭、人足20人が常設され、街道沿いには旅籠や茶屋が建ち並んで、たいそう賑わったそうです。村人はこれらの旅籠や茶屋に雇われて生計を立て、農繁期には田畑で農作業をして生活していました。

慶長5年（一六〇〇）、越前藩主となった結城秀康は、この地に関所を設けて旅人を取り締まりました。常時役人が駐在し、火縄銃や弓矢などを常備して関所破りに備えました。特に板取宿は越前の南端となることから、北端の細呂木宿（あわら市）と並んで最も重要視されていたといふことです。

板取の街道沿いに建ち並んだ茅葺きの民家は、「妻入兜造り型民家」と



▲現在の風景

呼ばれています。街道沿いの限られた土地にたくさん民家を建てようとする場合、必然と間口が狭く奥行きが深い妻入型の建物となり、その妻入の屋根の正面を切り上げて造られた「兜」が最大の特徴となっています。この型式は二階の採光・通風をはかるのに最も適しており、またこの地方は豪雪地帯であることから、一階が雪に埋もれた際には二階から出入りできるという利点もありました。民家の間取りもこの地方独特の間取りをしています。この間取りは「二列縦型間取り」と呼ばれ、この街道沿いと木ノ芽峠ふもとの新保宿（敦賀市）の民家にしかみられない大変めずらしい間取りです。

明治19年の敦賀〜武生間の海岸道路（現・国道8号線）の開通や同29年の旧国鉄北陸本線の開通など、時代とともに交通事情が変化すると、北国街道から人の姿が消え、板取宿の繁栄もまた急速に失われていきました。幕末の頃には50数戸あった民家も、現在は平成4〜5年にかけて移築修繕された4戸が上板取地区に残っています。かつての住人はほとんどが離村し、現在の住人は民家で生活することを条件に管理をお願いしている町内外出身の一般の方です。

当時のような賑わいはありませんが、現在は街道の石畳や遊歩道なども整備され、静かに佇む民家が周りの豊かな自然と調和して見事な景観を醸し出しています。



▲妻入兜造り型民家の立面図

トレーニングと教室で夏バテ&ストレス解消!



ウォーターランド通信

ウォーターランド南条 ☎ 47・3711

☆パーソナルレッスン
大好評につき延長決定!

パーソナルレッスンは、トレーニングや体操、全体の個人指導のことで、専門の指導員が適切に指導することにより、トレーニング効果が一層高まります。毎週金曜日を実施している特別パーソナルレッスン（通常50分間でレッスン料2,500円を500円に割引）ただし、入館料は別途必要）については、大好評につき9月以降も延長して実施します。左記の時間での予約制です。ぜひ、この機会にご利用ください。

① 午前11時10分〜正午 吉原指導員
② 午後1時30分〜午後2時20分 梅田指導員

③ 午後7時10分〜午後8時 井上指導員
④ 午後8時10分〜午後9時 吉田指導員

☆フラダンス教室開催!

日時 9月7日(月)から11月30日(月)

までの毎週月曜日(全9回)

午後1時30分〜午後2時30分

受講料 7,560円(入館料込、全9回分)

定員 15名

☆ウォーターランドGoGoバス
運行日を変更

9月からウォーターランドGoGoバスの運行日を左記のとおり変更します。

【今庄方面】毎週金曜日のみ運行
【河野方面】毎週木曜日のみ運行